

学校紹介新聞

茨城県立 水戸聾学校



◆校長 奥岡 智博
◆在校生数 79人
◆創立 1908年
◆住所 水戸市千波町 2863の1

1分間スピーチを発表する様子



がんばっています！

個性光るスピーチ発表



私たち中学部では「1分間スピーチ」に取り組んでいます。毎月1回、先生からスピーチのお題を出してもらい、それに沿って文章を書いて、代表者が発表をしています。相手に伝わりやすい言葉で、面白い文章になることを意識して書いています。また発表では手話力、表現力の二つを意識しています。私が今年一番印象に残っているテーマは「もしも魔法が使えたら」です。みなさんは魔法が使えたらどうしますか？本校の生徒は「魔法を禁じたい」「過去や未来へ行きたい」などを書いていました。一人一人の個性が光るスピーチなので、発表を聞いていて、とても楽しいです。これからも1分間スピーチに取り組みながら、求める力でもある「書く力・表現力・手話力」を向上させ、将来に生かしていきたいと思えます。(中学部3年 武藤結希)



こんな学校です！



文化祭に向けてダンスの練習をする高等部の生徒たち

聴覚障害教育115年の歴史



美留町真央



海野瑠夏

本校は、創立115年目を迎える歴史と伝統のある聴覚に障害のある幼児児童生徒のための特別支援学校です。幼稚部から高等部まで79人が在籍し、就学前の乳幼児を対象とした早期教育もあります。寄宿舎も併設され、県内から25人が集い生活しています。高等部には普通科、産業工芸科、被服科があり、現在

22人が学んでいます。3年生が企画する「全日ホームルーム」は、学年関係なく、先生も含めて楽しく活動する行事です。また年に1回小学部から高等部までが合同で体育授業を行い、交流を深めています。

学校生活では、聴覚障害の程度に応じて手話や文字情報を活用し、授業を行っています。卒業後の進路に向けて、たくさん思い出をつくりながら、日々活動や勉強に取り組んでいます。(高等部広報委員会 美留町真央委員長 海野瑠夏副委員長)



授業でタブレット端末を使う児童

ICT活用

画面上で問題解き送信



小学部には、1年生から6年生まで31人が通っています。幼稚部時代からずっと一緒に過ごしている児童も多いこともあって、アットホームな雰囲気の特徴です。休み時間には学年を超えて仲良く遊ぶ姿も見られます。年間通して固定の縦割り班があり、リーダーを中心に活動することもあります。最近の小学部の授業では、タブレット端末や電子黒板が多く使われるようになりました。写真や動画の撮影や視聴だけでなく、撮った写真に説明や感想を書き込んでレポートを作成したり、画面上で問題を解いて先生にデータを送信したりしています。オンラインでの集会活動や他校との交流など、数年前には考えられなかった活動が可能になりました。触れ合いの温かみを大切にしながら可能性を広げていきたいです。(小学部教諭 小畑由紀子)

わくわく 学校行事



大きな恐竜に驚(おどろ)く 年長児=9月、水戸市森林公園

遠足で見た恐竜模型



幼稚部には3、4、5歳児の子どもたちが12人在籍しています。9月には遠足があり、恐竜の実物大模型で有名な水戸市森林公園に行きました。友達と一緒に絵本や図鑑を見て、恐竜の大きさや体の特徴などを想像して話し合い、楽しみにしていました。当日、実際の恐竜模型は大きくて迫力があり、年長の子どもたちでも初めは少し怖がる様子が見られましたが、恐竜の滑り台で遊んだり、顔やしっぽにぶら下がったりして楽しい一日を過ごしました。遠足後は恐竜ごっこがブームになり、2本足のティラノサウルスや4本足のトリケラトプスのまねをして遊ぶ姿が見られました。また一番人気のティラノサウルスを共同制作で、大きな絵にすることもできました。幼稚部では今後も子どもたちの興味に合わせて、豊かな経験活動に取り組んでいきます。(幼稚部教諭 根本里子)

次回は12月21日 茨城県立高萩清松高等学校です

高度なことを楽しく 確実に

水戸第一高等学校附属中学校 2年連続 5名合格

水戸英宏小学校

水戸英宏中学校

Society5.0 近未来型スクール構想(通信制・単位制高等学校・普通科)

EIKOデジタル・クリエイティブ高等学校

2023年4月開校予定

未来の学びへ、今はじまるEIKOのストーリー「ENJOY EIKO DREAM」

水戸本校 茨城県水戸市見川町2582番地9

浦和校 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目6-18けやきビル6F

Keimei

水戸啓明高等学校

私の夢 無限大

029-243-9680

KIRYO High School

水戸葵陵高等学校

029-243-7750